



枕崎市

市議会だより

2023

6

月号

No.321



議員集合写真(議場にて)

後列 左から 橋口議員、辻本議員、下竹議員、禰占議員、立石議員、上迫議員
前列 左から 平田議員、眞茅議員、吉嶺副議長、永野議長、豊留議員、水野議員

主な記事 contents

- 委員会審査の概要…………… IP
- 議案と結果(第1回定例会)…………… 6P
- 一般質問…………… 7P
- 議長就任あいさつ・委員会構成・編集後記…………… 11P

発行 ● 枕崎市議会

編集 ● 枕崎市議会報調査特別委員会
〒898-8501 枕崎市千代田町27番地
TEL.0993-72-1111

令和5年度 枕崎市一般会計予算を修正可決

公共施設等の有効活用と機能性の高い新庁舎建設の 早期実現に向けた財源確保を求める決議を可決

令和5年第1回定例会

令和5年第1回定例会は、3月3日から29日までの27日間の会期で開かれました。

この定例会では、令和5年度一般会計予算など予算関係議案15件、条例関係議案11件、町の区域の変更、専決処分承認、人事案件などについて審査を行い、6日・7日の本会議では、8名の議員が一般質問を行いました。

委員会審査の概要

総務文教委員会

○議案第14号

枕崎市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、個人情報の保護に関する法律の一部改正により、個人情報の開示、訂正及び利用停止並びに審査請求に係る規定が同法に規定されたこと、また、枕崎市議会の個人情報保護に関する条例において、議会が保有する個人情報の開示、訂正及び利用停止並びに審査

請求に係る規定が同条例に規定されたことに伴い、所要の改正をしようとするものです。

○議案第15号

枕崎市個人情報保護審査会条例の制定について

本件は、枕崎市個人情報保護に関する法律施行条例及び枕崎市議会の個人情報保護に関する条例の施行に伴い、枕崎市個人情報保護審査会の組織等に関する事項を定めようとするものです。

答 審査会は、例えば情報公開条例に基づいて不開示という決定をしたとき、それに対して不服がある場合に諮問し、審議会は、個人情報の適正な取扱いを確保するため、専門的な知見に基づく意見を聴くことが特に必要であると認めるときのみ諮問することができる。

問 審議会と審議会の違いについて

答 審議会の委員構成や本市在住者への委員の委嘱について

答 専門的な知見を持った方のほか、地域の実情などにも精通している市民の方も委員に入っていたく形が望ましいと考えている。

○議案第16号

枕崎市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、救急救命士である消防職員が、厚生労働省令で定める救急救命処置を行った場合における救急業務手当の額を定めようとするもので、現行では、消防職員が救急業務又は救助活動に従事したときには、1回につき一律150円を支給しているが、令和5年4月1日以降は、救急救命士が行う救急救命処置、いわゆる気管挿管などの特定行為を行った場合の救急業務手当の額を500円に定めようとするものです。

に限ってのみ支払われるものであり、本件は、特段上限が決まっておらず、額は全国的にばらつきがあるため、本市は県内や近隣市の状況等を考慮して、500円とする。

○議案第22号

枕崎市市民会館条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、令和4年10月に着工した市民会館管理棟大規模改修工事に伴い、管理棟1階の和室前に第5会議室として新たに会議室を設置したため、その使用料を8時30分から正午までを550円、正午から17時までを220円、17時から22時までを1260円と定めようとするものです。

問 市民会館の利用状況について

答 平成30年度が1923件の4万9919人、令和元年度が1902

件の4万9231人、2年度が1469件の2万248人、3年度が1397件の1万8422人と新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用回数も人数も減少している。今回新たに1階に会議室を設けたのは、既存の会議室は2階のみであることから

利便性を図ることのほか、高齢者の身体的負担を軽減することを目的としている。

問 以前の用途であった視聴覚ライブラリー室について

答 以前と比べて部屋は狭くはなるが、視聴覚ライブラリー室は設けている。

○議案第24号
町の区域の変更について

本件は、山手町及び日之出町の区域を変更することについて、地方自治法第260条第1項の規定に基づき、議

会の議決を得ようとするものです。

問 筆界確定にかなり長い時間を要したのはなぜか。

答 平成7年の地籍調査において、片平山配水池東側付近にある駐車場と児童福祉施設の境界について、旧地権者の主張と市が主張する土地で相違があり、数回協議を持ったものの、そのたびに合意を得られない状況にあったが、令和2年10月に相手方より境界確定に関する相談があったことから、令和3年6月の現地立会いを経て、市の主張する境界で合意に至り、令和4年3月に登記完了になった。

産業厚生委員会

○議案第17号

枕崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運

管に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、これに準じ、本市条例も所要の改正をしようとするものです。

問 改正の影響がある特定教育・保育施設はあるのか。

答 本市には2つの認定こども園と5つの保育園がある。なお、本市内の幼稚園は、認定を受けていないので対象外である。

○議案第18号

枕崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、これに準じ、本市条例も所要の改正をしようとするものです。

問 本条例の改正は、送迎車両の運行に関すると思うが、バス等での送迎を行っている施設はあるのか。

答 本市にはバス等での送迎を行っている施設はない。

○議案第19号

枕崎市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、これに準じ、本市条例も所要の改正をしようとするものです。

○議案第20号

枕崎市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、住民税非課税世帯以外の世帯に属する子ども、子ども医療費の助成対象となる年齢を現行の15歳までから18歳までに拡大し、令和5年6月1日から施行しようとするものです。

○議案第21号

枕崎市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定について

問 拡大する対象者数と助成額の見込みについて

答 対象者は400人程度、助成額は令和3年度の中学生の医療費助成額の実績額から、928万円を見込んでいます。

なお、その対象は、保護者に監護されている子であり、その監護を離れて自立している18歳以下の子や、高校生であつても3月31日をもって18歳を過ぎた方について

問 子ども・子育て会議の開催状況と構成メンバーについて

答 会議は年に2回開催しているが、5年ごと

ついで、対象外となる。

問 窓口無料化について

答 住民税非課税世帯は窓口無料化となっているが、その他は、窓口で支払った後に口座振込みにより助成される。なお、全ての窓口無料化を行うためには、国保連合会のデータを使用することから、市独自の導入は困難であり、県全体で取り組む必要がある。

の子ども・子育て支援事業計画を策定する年度は年3回開催している。

また、メンバーは各保育所、認定こども園、幼稚園の代表者、PTA連合会、母親クラブ、母子寡婦福祉会などの多岐にわたる代表者17人で構成されている。

○議案第23号

枕崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の額が4万8000円から48万8000円に引き上げられたため、本市条例においても、同様に額の改定を行うもので、支給される出産育児一時金は、産科医療補償制度に係る加算1万2000円と合わせ50万円になる。

なお、この改正は、令和5年4月1日から施

行となり、同日以後の出産に係る出産育児一時金について適用される。

問 出生数と婚姻数について

答 出生数は、令和4年が73人、3年が98人、感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の変更、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費並びにふるさと応援寄附金の減額補正に伴うふるさと納税返礼事業及びふるさと応援基金積立金などの減額、財政調整基金費、障害者自立支援給付費、市立病院負担金などの増額などです。

予算特別委員会

令和4年度枕崎市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

■ 予算特別委員会の審査の詳細については、ホームページに予算特別委員会記録を掲載していますので、御覧ください。

○議案第1号

令和4年度枕崎市一般会計補正予算(第10号)

今回の補正は、歳入歳出それぞれ13億6198万6000円を減

額し、予算総額を156億9960万円にしよ

うとするもので、当初予算額より、3.7%の伸びとなります。

補正予算の主なもの

は、新型コロナウイルスは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の変更、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費並びにふるさと応援寄附金の減額補正に伴うふるさと納税返礼事業及びふるさと応援基金積立金などの減額、財政調整基金費、障害者自立支援給付費、市立病院負担金などの増額などです。

○議案第3号

令和4年度枕崎市介護保険特別会計補正予算(第2号)

今回の補正は、歳入歳出それぞれ543万9000円を減額し、予算総額を31億5673万3000円にしよ

うとするもので、当初予算額より約5%の伸びとなります。

○議案第4号

令和4年度枕崎市立病院事業会計補正予算(第2号)

今回の補正は、収益的収入において、入院

収益、その他医業収益及び一般会計からの負担金の増並びに外来収益の減に伴い医業収益を2207万6000円追加するほか、一般会計から負担金及び新

型コロナウイルス感染症関連補助金の増に伴い、

医業外収益を3828万1000円追加し収益的支出において、消費税及び地方消費税の増に伴い、医業外費用を33万5000円追加しようとするものです。

資本的収入及び支出

においては、一般会計から負担金の増に伴い、収入を1258万7000円追加し、収入額が支出額に対して不足する額2088万8000円は、過年度分損益勘定留保資金などで補填しようとするものです。

○議案第5号

令和4年度枕崎市水道事業会計補正予算(第2号)

今回の補正は、収益的収入で、人事異動等による児童手当分の一般会計負担金を収益的支出では、電力価格の高騰による動力費並びに消費税及び地方消費

税をそれぞれ補正するものです。

資本的収入及び支出において、収入額が支出額に対し不足する額2億5202万5000円は、過年度分損益勘定留保資金などで補填しようとするものです。

○議案第6号

令和4年度枕崎市公共下水道事業会計補正予算(第2号)

今回の補正は、雨水管理総合計画策定事業費の確定に伴う営業収益の他会計負担金・営業外収益の国県補助金及び委託料、前年度決算による固定資産取得額確定に伴う長期受金戻入、減価償却費及び営業外収益の他会計負担金、人事異動に伴う他会計補助金、並びに、企業債利率見直しによる支払利息及び企業債取扱い諸費について、収益的収入支出を補正し、資本的収入額

が支出額に対し不足する額の補填財源の内訳を変更するものです。

資本的収入及び支出において、収入額が支出額に対し不足する額2億7450万8000円は、過年度分損益勘定留保資金などで補填しようとするものです。

○議案第7号

令和5年度枕崎市一般会計予算

予算総額は、157億2560万円で、歳出予算の主なものは、子ども医療費助成事業における課税世帯高校生までの助成対象拡大や子育て世帯訪問支援臨時特別事業、産科・小児科医療体制確保対策事業のうち産科医療支援事業負担金、南薩地区衛生管理組合負担金のうち内鍋清掃センター焼却施設解体事業負担金、林道新設事業、枕崎の魅力ブランディング事業委託、国内外観光客

誘客事業委託のうち観光モニターツアー企画費、学校教育施設等整備事業のうち学校施設バリアフリー化設計業務委託、地区公民館等改修事業のうち桜山地区公民館大規模改修工事設計業務委託、学校給食センター管理費のうち給食費口座振替に係る経費及び給食費システム導入などです。

歳入予算のふるさと応援寄附金は、令和4年度の寄附額の状態を勘案し、前年度と比較して9億円減の20億円を計上しています。



～議案第7号 令和5年度枕崎市一般会計予算 に対する修正案～

令和4年度予算における今回の3月補正では、12月議会で修正可決され復元した老人福祉センターの大規模改修工事設計業務委託事業は、令和5年度への事故繰越や事業費の減額もなく、執行されていないことが判明し明らかに議会の議決を無視した意図的な予算編成と言っても過言ではなく、市長の政治姿勢が問われる大きな問題でもあるとの理由から、令和5年度一般会計予算中、保健センター設置に係る土地・建物購入費及び当該施設改修に係る調査設計等委託料の計7,440万円を皆減する修正案が提出され、委員会を経て、本会議において賛成多数で可決されました。

○議案第8号 令和5年度枕崎市 国民健康保険特別 会計予算

予算総額は、33億3715万円で、前年度当初予算と比較して1億6263万3000円、4.6%の減となっています。

約0.4%、1185万1000円の減となります。

○議案第11号 令和5年度枕崎市立 病院事業会計予算

業務予定量は、病床数55床、年間患者数を入院で1万6836人、外来で1万3621人、1日平均患者数を入院で46人、外来で53人と決めました。

有形固定資産購入費及びリース債務支払額、企業債償還金の合計3859万3000円を予定し、収入額が支出額に対して不足する額3859万3000円は、過年度分損益勘定留保資金などで補填しようとするものです。

○議案第9号 令和5年度枕崎市 後期高齢者医療特 別会計予算

予算総額は、3億8973万9000円で、前年度当初予算と比較して、237万3000円、0.6%の増になります。

収益的収入は、医業収益、医業外収益、附帯事業収益の合計6億2834万9000円で前年度より2381万5000円の減、収益的支出は、医業費用、医業外費用、附帯事業費用の合計7億7293万9000円で、前年度より1562万2000円の増となり、収支差引1億4459万円の当年度純損失となる見込みです。

○議案第12号 令和5年度枕崎市水 道事業会計予算

業務の予定量は、給水戸数を1万100戸、年間総給水量を253万4000立方メートル、1日平均給水量を6923立方メートルを予定しており、前年度と比較して、給水戸数は100戸、年間総給水量は、6万6000立方メートル、1日平均給水量は200立方メートルの減となります。

○議案第10号 令和5年度枕崎市 介護保険特別会計 予算

予算総額は、29億9356万円で、令和4年度当初予算額より

資本的支出は、建設改良費として老朽化した機器の更新等に充て

用を4億1475万8000円とし、差引き1629万4000円で、税抜き後の純利益360万9000円を予定しており、前年度当初予算と比較して、62万6000円の増となります。

資本的収入及び支出の予定額は、資本的収入を4766万2000円、資本的支出を2億8100万3000円とし、差引き2億3334万1000円の不足額については、過年度分損益勘定留保資金などで補填しようとするものです。

○議案第13号

令和5年度枕崎市公共 下水道事業会計予算

業務の予定量は、排水戸数を5870戸、年間総処理水量を159万4000立方メートル、1日平均処理水量を4350立方メートルと予定しており、前年度と比較して排水戸数は同

戸数で増減なしで、年間総処理水量で1万1000立方メートル、1日平均処理水量で50立方メートルの減となりました。

収益的収入及び支出の予定額は、下水道事業収益を8億7474万9000円、下水道事業費用を7億3940万2000円とし、差引き1億3534万7000円で、税抜き後の純利益1億240万6000円を予定しています。

資本的収入及び支出の予定額は、資本的収入を7億7126万1000円、資本的支出を10億5132万6000円とし、差引き2億8006万5000円の不足額は、当年度分損益勘定留保資金などで補填しようとするものです。

○議案第25号

専決処分承認を 求めることについて

本件は、市内の飲食店及び宿泊業等における消費喚起を図るため、キャッシュレス決済を利便した者に対しポイント還元を行うキャッシュレス決済消費喚起ポイント還元事業について、当初予定期間の令和5年2月末まで実施するために必要な経費について不足が見込まれることから、令和4年度枕崎市一般会計予算の補正を緊急に行う必要があったとのことである。

歳出それぞれ億7738万4000円を追加し、予算総額を158億7698万4000円にしようとするもので、当初予算額より4.9%の伸びとなります。

補正予算の内容は、株式会社枕崎お魚センターを観光振興と海業振興の役割を担う拠点として整備するための補助を行う、「太陽と鯉のまち『枕崎』ウォーターフロント拠点整備事業」です。



令和5年2月1日～28日まで実施したポイント還元事業



枕崎お魚センター

公共施設等の有効活用と機能性の高い新庁舎建設の 早期実現に向けた財源確保を求める決議（一部抜粋）

市当局は令和4年12月議会において、老人福祉センターの大規模改修工事設計業務委託を皆減し、新たに民間の医療施設跡地を取得して保健センターを設置する補正予算の議案を提案した。

議会は、新たな施設の取得は第6次枕崎市総合振興計画や枕崎市公共施設等総合管理計画との整合性がなく、維持管理費など新たな財政負担に繋がることなどの理由で、民間医療施設跡地の取得予算を削除し、老人福祉センターの大規模改修工事設計業務委託費を復元する修正議案を可決したところである。

ところが、市は老人福祉センターの大規模改修工事設計業務委託を執行していないにも拘わらず、令和5年度当初予算において医療施設跡地を取得して保健センターを設置する議案を再提案した。

地方自治法の精神は、市民福祉の向上のために最小の経費で最大の効果をあげることがを求めている。本市においては、枕崎市総合振興計画を上位計画とした枕崎市公共施設等総合管理計画の基本方針を堅持・実行し、既存施設の有効な利活用を図り、機能性の高い新庁舎建設の早期実現に向けた財源確保に努めることを強く求めるものである。

以上、決議する。

議案と結果

令和5年第1回定例会

(全会一致で議決された案件)

議案番号	議案名等	議決結果
第1号	令和4年度枕崎市一般会計補正予算(第10号)	可決
第2号	令和4年度枕崎市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
第3号	令和4年度枕崎市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
第4号	令和4年度枕崎市立病院事業会計補正予算(第2号)	可決
第5号	令和4年度枕崎市水道事業会計補正予算(第2号)	可決
第6号	令和4年度枕崎市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
第11号	令和5年度枕崎市立病院事業会計予算	可決
第12号	令和5年度枕崎市水道事業会計予算	可決
第13号	令和5年度枕崎市公共下水道事業会計予算	可決
第14号	枕崎市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第15号	枕崎市個人情報保護審議会条例の制定について	可決
第16号	枕崎市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第17号	枕崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第18号	枕崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第19号	枕崎市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第20号	枕崎市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第21号	枕崎市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第22号	枕崎市市民会館条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第23号	枕崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第24号	町の区域の変更について	可決
第25号	専決処分の承認を求めることについて	承認
第27号	枕崎市議会事務局設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第28号	令和4年度枕崎市一般会計補正予算(第11号)	可決
第29号	令和5年度枕崎市一般会計補正予算(第1号)	可決

(賛否が分かれた案件)

※賛成は○、反対は●、欠席は欠、除斥は除、退席は退、―は議長のため表決していない。

議案番号	議案名等	議決結果	議員名(議席順)															
			永野慶一郎	眞茅弘美	上迫正幸	沖園強	彌占通男	城森史明	吉松幸夫	豊留榮子	立石幸徳	下竹芳郎	中原重信	東君子	清水和弘	吉嶺周作		
第7号	令和5年度枕崎市一般会計予算に対する修正案	修正可決	―	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
	令和5年度枕崎市一般会計予算に対する修正議決した部分以外の原案		―	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
第8号	令和5年度枕崎市国民健康保険特別会計予算	可決	―	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
第9号	令和5年度枕崎市後期高齢者医療特別会計予算	可決	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第10号	令和5年度枕崎市介護保険特別会計予算	可決	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第26号	監査委員の選任について	同意	―	無記名投票(賛成12票、反対1票)														
第30号	公共施設等の有効活用と機能性の高い新庁舎建設の早期実現に向けた財源確保を求める決議	可決	―	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- ・議案第7号については、修正案に賛成の討論がありました。
- ・議案第8号から議案第10号については、反対の討論がありました。

子育て支援における給食費無償化について



森 史 明 議員



動画 視聴

問 学校給食無償化の動きが県内自治体で広がり、南さつま市に続き南九州市においても来年度から学校給食無償化を実施することと、大きな危機感を感じた。議会の質疑の中で子育て政策の先進地である近隣都市へ本市の子育て世帯が移住していることたびたび耳にしている。手厚い子育て支援政策のために、本市も学校給食の全面無償化について真剣に検討すべき時期が到来しているのではないかと。

規定されている。その法的根拠に基づき、本市は給食費の全面無償化は実施していない。
問 国は学校給食法第11条について、自治体の食料費の負担を禁止するものではないという通達を出しており、本市の主張する法的根拠は崩れているのではないのか。
答 法的には無償化しても問題ないことから自治体の判断でいろいろな施策が可能と考えている。
問 ふるさと納税が多数寄せられており、それを活用することで給食費の無償化は可能と考える。本市が小中学校の給食費の全面無償化を実施する場合、年間の経費は幾らか。
答 約6000万と試算している。

は80名程度と大きく減少している。また、年少人口率も県下19市の中で後ろから2番目に低い等非常に深刻な状況である。
とにかく理屈抜きで子育て世代の経済的負担を軽減する異次元の子育て支援政策を実施すべきではないのか。
答 少子化対策としてはもっと根本的な経済政策が必要と考えている。若い世代の所得向上を図り、結婚し子供を育てたいという環境をつくること、少子化問題の解決策と考える。

その他質問事項

- ・ 枕崎市クリーン堆肥センターにおける下水道汚泥の活用について
- ・ 火之神地区の養豚場跡地の有効活用について

〇二次元コードをスマートフォン等で読み取ると各議員の一般質問の録画映像を視聴できます。

交通弱者対策について



眞 茅 弘 美 議員



動画 視聴

問 交通弱者対策に向けて協議会を立ち上げて予約型乗合タクシーの実証実験をすると聞いていたが、いつ実施したのか。またこれまでの流れと結果は。
答 実施期間は令和5年1月23日から2月24日で実施地区は立神地区を中心として13公民館を対象に12会場で説明会を行うとともに回覧板での周知を2回行った。説明会には約100人の出席をいただいた。結果としては事前登録者が15人いたが実際の利用者はいなかった。

画自体の中身が物語っている。なぜドア・ツードアつまり自宅の玄関前という方法を取らなかったのか。
答 公共交通の在り方については、既存の交通網や交通手段を最大限活用するところであり、競争を避けるためにこのような設定を行った。
問 理由づけはそうかもしれないが、それで交通弱者対策になるのか。利用しやすく安心しやすいサービスがあれば皆さん安心して免許証の返納もできる。また、どうしても行かないといけない買物や病院にも安心していける方法を取っていただきたい。

で議論していきたいと考えている。
高年齢福祉の更なる充実強化について
問 本市の高年齢者の世帯数が平成27年には5330世帯で一般家庭の5割を占めているようだ。また、これまでのコロナ禍により高年齢者は外に出ることが制限されたと社会とのつながりが希薄になっているのではないかと。
答 これまでの自粛生活が今後の高年齢者の健康に与える影響が懸念されるため様々な方面から検証し不安を抱える高年齢の方が安心して生活できるように取り組んでいきたい。

その他質問事項

- ・ ひきこもりの実態及び支援について

一般質問

難聴者への補聴器購入助成について



豊留 榮子 議員



動画 視聴

問 難聴は危険因子の一つとして挙げられ、認知症予防に難聴対策が注目されているところである。

答 そこで、補聴器を購入するのに自治体が費用の一部を助成する補聴器購入助成制度ができ、昨年の10月現在で全国114市区町村に広がり、県内でも曾於市が実施。高齢者の生活支援及び社会参加の促進、さらに介護費や医療費を抑えることができることから補聴器購入への助成について市長の見解は。

答 本市では、補聴器の購入補助として、身体障害者手帳を所

持する聴覚に障害のある方を対象とした障害者総合支援法に基づく補装具費の支給のほか、枕崎市軽度・中等度難聴児補聴器購入助成事業による補助を実施している。

しかしながら、障害者総合支援法の対象とならない高齢者に対する補聴器の購入の助成制度は実施していない。

問 高齢者の難聴に関する実態調査はされたのか。

答 難聴に関する実態調査は行っていない。高齢者に対する調査は3年ごとに老人福祉計画及び介護保険事業計画を策定するに当たり、策定年度の前年度に介護予防日常生活圏域ニーズ調査・高齢者等実態調査を実施している。

問 調査結果を今後どのように活用されるのか。

答 この調査は耳に限らず、全体的な高齢者の実態調査である。今後、高齢者施策等への活用、あるいは介護保険事業計画の中でそういった全体的なアンケート結果を取り上げる形で策定委員会、懇話会等で議論していただいて、本市の方向性を定めていく部分に活用させていいただきたいと考えている。

その他質問事項

- ・ 会計年度任用職員について
- ・ 国保税の子供の均等割について



枕崎市の稼ぐ力の向上について



清水 和弘 議員



動画 視聴

問 岸田総理は人材育成のイノベーションや児童手当について、異次元の少子化対策の具体策に向けスタートした。本市の人材育成イノベーションに取り組み考えについて

答 組織での地位や立場に関係なくリーダーシップを発揮して課題解決に取り組む人材、状況変化に対応する機敏性、適応性とスピード感を持った人材を育成する。

問 鹿児島県は子ども未来プラン2020を策定、少子化対策・子育て支援・母子家庭対策等総合的に推進とある。本市の対策・効果について

答 効果について

確な数字は表示できないが、支援が必要な子供を持つ家庭にはしっかり対応していると思っている。

問 本市の少子化の原因は稼ぐ世代の手取り収入が少ないからと思うが対応について

答 1990年から2022年まで、20代、30代の賃金は一定のアップがされている。

問 貧困率の増加を防ぐため、市内での対策、討論について

答 貧困率にフォーカスするのではなく少子化対策が一番の課題であり、施政方針で何をすべきか示している。

問 本市が実施している少子化対策の効果による2040年の人口をどのように判断しているのか。

答 枕崎市人口ビジョンにおいて、人口1万4730人、年少人口1753人、生産年齢人口6790人、老

年人口6187人と推計している。

枕崎市の子育て支援について



立石 幸徳 議員



動画 視聴

問 本市の出生数は、令和元年の106人から令和4年の73人へと減少してきている。減ってきた要因は何か。

答 経済的理由、生き方の多様化による未婚化・晩婚化の進行、価値観の変化、出産される年代の女性人口の減少などが関係している。

問 本市の産科医療機関が6月末で分娩の取扱いをやめる。本市として、出産のための政策、対策は何ができるのか。

答 7月以降の産科医療体制については、薩南病院が南薩3市で見込まれる分娩に対応できる体制を整えている。本市内の産

科医療機関は、今後も外来診療は続けるので、新たに産後ケアを実施する体制を確保する取組をしたい。

問 令和4年法律第66号として児童福祉法が改正された趣旨は何か。

答 法改正以前も、「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」の2つが一体的に子育て支援を実施するようにになっていた。本市もだが、全国的に「子ども家庭総合支援拠点」の設置が進まない実態があった。児童虐待の増加や、子育てに困難を抱える世帯が顕在化してきたので、包括的な支援のため体制強化の法改正をして「こども家庭センター」の設置を努力義務とした。

問 健康課の所管である母子保健と福祉課の所管である児童

福祉を、今後は国の「こども家庭庁」の下、一体的に取り組むことで何が変わっていくと考えているのか。

答 「こども家庭センター」が設置されると、妊娠期から子育て期の全ての市民を対象とした切れ目のない支援をワンストップで実施できる。健康課と福祉課の業務が効率化し家庭への支援がより早く、より充実されたものとなる。

その他質問事項

- ・燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会への本市取組について
- ① 来県者を温かく歓迎し、鹿児島島の誇る郷土料理、特産品でもてなすための本市の対応について
- ② 街並みを花いっぱいにし、清掃活動やクリーンアップ運動への市民参加について

行政計画について



西村 宗徳 議員



動画 視聴

問 公共施設等総合管理計画など、行政計画策定はどのように行われているのか。

答 自治体が独自に発意して定める計画のほか、法令等により計画を義務づけられるものや努力義務として規定されるものがある。

問 公共施設等総合管理計画の策定は、義務なのか、それとも努力義務で策定に至ったのか。

答 国が平成26年度に公共施設等総合管理計画の策定に当たり指針を策定、国の指針を基に自治体がこの管理計画を策定している。

問 策定後の改定や

廃止の手順はどのようになっているのか。

答 法令等により改定を求められるものや、計画自体に年度をおいての計画、見直しが規定されているものがある。

助成制度について

問 本市の個人向けや自治会など団体向けの助成制度の状況は、どのようになっているのか。

答 本市における助成制度や支援制度については、各課において、ホームページへの掲載、作成した冊子等の配付により市民や団体等へ周知している状況である。

問 他市のように助成制度を1冊にまとめた冊子や、ワンストップで対応する部署が本市としても必要と思うがどうか。

答 他市では、助成制度一覧が作成され

ているが、現在本市は作成していない状況である。助成制度や支援制度は、対象の方や活用を考えている方に対してどう周知していくかが重要である。今後、一覧表にしたほうが分かりやすいのか、分野ごとに特化した形により支援に導く方法のどちらが有効であるか、他市のPRの状況等も見ながら、効果的な周知方法を研究したい。



一般質問

宇都集落の「巨大な穴」について



東 君 子 議員



動 画 聴 取

問 10年以上も理不尽な環境に悩み苦しめられている地域が存在している。宇都集落である。長年にわたって放置され続けた巨大な穴に悩まされる宇都集落の人たち。現在の危険な状況に對して、市はどのように考えているのか。

答 開発行為者及び集落代表者や周辺住民、隣接地の地権者、本市による話し合いを行い合意事項の確認書を締結している。現在でも、合意内容が履行されていないため、周辺住民からは不安の声が上がっている。開発行為者に指導を行っていくとともに、梅雨時期の点検

や大雨時の避難情報の提供など周辺住民の不安の軽減・解消に努めていく。

問 現場を見て全身の鳥肌が立った。証拠の写真が何枚もある。山が削られて、巨大な穴がほげている。そこに大雨の時に水がたまる。危険な場所が民家から離れていない。枕元のすぐ上にある。こんな工事をなぜ市は許したのか。どういった目的で穴は掘られ、市はどのような対応を取ってきたのか。

答 個人財産及び公共用地、青線・赤線と呼ばれているものの保全のためである。周辺住民からの要請等もあり、現地確認や口頭での指導を続けてきた。

問 こんな状態が10年以上もほったらかしにされて、議会でも幾度も取り上げられた。それなのにまだ解決していない。その原

因はどこにあると考えているのか。

答 原因を特定することは困難だが、周辺住民が不安を抱えているのは事実である。

問 認識が甘い。自分の家の状態が危険な状態になったとき、そういう冷静な回答をするのか。梅雨や台風によって大雨になれば土砂崩れの危険もある。被害が出る前に緊急安全対策を行ってほしい。

答 開発行為者の維持管理がなされていない。まずは当事者である開発行為者が対策すべきであると考えている。繰り返しになるが、本市としては先述した対応に努めたい。



スポーツ・文化による関係人口の増加について



上 迫 正 幸 議員



動 画 聴 取

問 野球場を中心としたイベント・キャンプ等が開催されているが、関係人口の増加など現状をどのように分析しているのか。

答 市営野球場の大規模改修を終え施設が充実したことで、九州女子公式野球リーグ戦や高校野球交流戦、バックスクリーンの特設ステージとスコアボードの大型LEDビジョンを生かしたイベント等、県内外から多くの方に来ていただき、大きな経済効果が期待できる。

問 各イベント参加者の感想、意見は。

答 アンケート等は実施してはいないが、主催者、実施団体か

ら御意見を聴取し、次期開催に向けての参考としている。

問 イベント、キャンプ等の企画運営、また誘致など本市の関わり方は。

答 南薩甲子園は近隣の4市と地域振興局により企画されたイベント、国内外の高校や大学野球チームの合宿誘致は、指定管理者が自主事業として積極的誘致を進め実現している。

問 イベント等の開催情報等を知らない市民の方への周知方法は。

答 各種イベントについては、広報まくらぎきや回覧板、市のホームページ等を利用して積極的に周知している。

答 実エンドウ、スナックエンドウで70%の被害率、被害額で4287万1000円の被害が出た。

問 国や県への支援の要請はしないのか。

答 市としての支援は考えてはいないが、国県等での支援というものを要請した。

問 収入保険の加入状況と今後の対策は。

答 個人または法人で55経営体が加入しており約250経営体の22%となっている。今後保険料に対する国の補助、パソコン農業簿記研修会等紹介し、青色申告への誘導を行うと共に収入保険への加入を呼びかけていきたい。

その他質問事項

・郷土芸能について

問 1月下旬の降雪で豆類に多大な被害が出たと聞いているが、その被害状況は。

議長就任のあいさつ

枕崎市議会 議長 永野 慶一郎

この度、改選後の臨時議会におきまして第47代議長に選出されました。市民の皆様には議長就任のご挨拶を一言申し上げます。

改選前に引き続き2回目の議長就任となりますが、光栄に存じますとともに、重責を担う事を痛感し、身の引き締まる思いであります。

さて、今回の市議会選挙は8年ぶりの選挙戦となり、新人4名を含む12名が新たに市議会議員となりました。

女性議員も12名中4名と、議員の3割を占めることとなり、県内でも女性議員の比率が一番高い議会となりました。

その一方で、投票率が過去最低の56.52%と前回8年前の64.12%を大きく下回りました。

市民の政治離れが懸念される所ではございますが、本市議会におきましても開かれた議会の取り組みとして、議会の様子を生中継や録画で配信しておりますが、今後は議会活動をSNS等で発信し更なる開かれた議会を目指し取り組みまいります。

また、約3年にも及ぶ新型コロナウイルス感染症や物価高騰により影響を受けた、本市の地域経済の更なる回復や人口減少・少子高齢化などの問題に、今回新たに議員となられた若い方の新しい発想や斬新なアイデア、経験豊富なベテラン議員の知恵を結集し課題解決に向け取り組みまいります。

地方自治体においては議会と首長が二元代表制のもと車の両輪であると例えられますが、市民の代表である我々議員は、市勢発展のために研鑽を重ね、行政のチェック機能としての機能をしっかりと果たすべく、市民の声に耳を傾け、信頼される議会として「生まれて良かった、住んで良かった枕崎」といわれる町になるよう浅学菲才ではございますが、議会の長として邁進していく所存でございます。

第2回臨時会が、5月10日に開催され、正副議長選挙や常任委員会委員などの選任を行いました。

また、専決処分承認3件について本会議において審議を行い、承認されました。

●正副議長は、次のとおりです

議長



永野慶一郎 議長

副議長



吉嶺周作 副議長

各常任委員会等の構成は次のとおりです。
(◎印は委員長、○印は副委員長)

◎上 迫 幸徳
◎立 石 幸徳

◆総務文教委員会

◎上 迫 幸徳
◎立 石 幸徳

永 橋 豊 禰 立 上
野 口 留 占 石 迫
慶 洋 榮 通 幸 正
一 一 子 男 徳 幸

◆産業厚生委員会

◎眞 茅 弘美
◎眞 竹 芳郎

◆議会運営委員会

◎辻 留 榮子
◎豊 本 貴志

◆議会報調査特別委員会

◎平 田 るり子
◎水 野 正子

■一部事務組合議会



◆南薩地区衛生管理組合議会議員

永 野 慶一郎
立 石 幸徳
眞 茅 弘美

◆南薩介護保険事務組合議会議員

永 野 慶一郎
辻 本 貴志
橋 口 洋一

編集後記

3年前、世界中を震撼させた新型コロナウイルスは今年5月に2類から5類へ引き下げられ、収束への一区切りとなりました。

しかし、未知の細菌やウイルスによる新たな感染症への恐怖は私たちの心から消えません。

それは予測なしに発生する自然災害と同じで、いつどのように私たちに襲いかかるのか未知数であります。常に最悪の状態を想定し、対策を可能な限り講じて非常時に備えなければなりません。

行政と市民が一体となって住み良い枕崎を目指しましょう。

私たち市議会議員が全力を尽くします。

(平田るり子)

議会報調査特別委員会

委員長 平田るり子
副委員長 水野正子
委員 豊留 榮子
委員 上迫 幸徳
委員 眞茅 弘美
委員 橋口 洋一

枕崎市議会の詳しい情報は、「枕崎市議会のホームページ」をご覧ください。

<https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/gikai/>

枕崎市議会